

令和元年産「だて正夢」の生育状況及び今後の栽培管理について

宮城県米づくり推進本部
令和元年 7月4日

1 「だて正夢」の生育概況

7月1日現在の生育状況は、草丈53.3cm（前年比96%）、茎数516本/m²（前年比103%）、葉数10.0枚（前年差-0.1枚）、葉色（GM値）44.6（前年差+1.1ポイント）となっている。

表1 「だて正夢」生育調査結果（7月1日まで）

	草 丈		茎 数		葉 数		葉 色	
	本 年 (cm)	前年比 (%)	本 年 (本/m ²)	前年比 (%)	本 年 (枚)	前年差 (枚)	本 年 (GM値)	前年差 (GM値)
5月31日現在	26.6	103	122	111	5.5	0.2	—	—
6月10日現在	34.2	100	291	111	7.3	0.1	42.2	▲ 0.5
6月20日現在	40.5	104	437	115	8.6	0.5	43.9	0.7
7月1日現在	53.3	96	516	103	10.0	▲ 0.1	44.6	1.1

※県内10か所の平均値

2 「だて正夢」の今後の栽培管理について

【追肥について】

ポイント

○追肥は、減数分裂期に窒素成分で2kg/10aを施用する。

○有効茎数の不足が予想される場合には、幼穂形成期と減数分裂期に窒素成分で1kg/10aずつ施用する。

整粒歩合や粒張りの向上のため、減数分裂期の追肥が基本となるが、以下の基準により判断する。

<幼穂形成期の追肥判断>

ア. 生育量が目安に満たない。

→ 窒素成分で1kg/10aを追肥

イ. 生育量が目安内にあるか超過している。

→ 追肥しない（減数分裂期の追肥を検討）

※次ページ表2の倒伏診断指標（幼穂形成期）も参考にする。

●幼穂形成期（幼穂長：1～2mm）

生育量の目安

草丈 (cm)	64～70
茎数 (本/m ²)	390～460
葉色 (GM値)	40～42
主茎葉数 (枚)	10.0～10.8

<減数分裂期の追肥判断>

ウ. 生育量が目安内にあるか目安に満たない。

① 幼穂形成期追肥を行っていない

→ 窒素成分で2kg/10aを追肥

② 幼穂形成期追肥を行っている

→ 窒素成分で1kg/10aを追肥

エ. 生育量が目安を超過している。

→ 追肥しない

●減数分裂期（幼穂長：3～12cm）

生育量の目安

草丈 (cm)	76～82
茎数 (本/m ²)	380～420
葉色 (GM値)	37～39
主茎葉数 (枚)	11.4～12.2

【水管理について】

○中干しは、遅くとも幼穂形成期前に終了する。

○根腐れが発生しやすく倒伏の危険性のある水田は、有効茎を確保する頃から落水期まで、飽水管理により、根の健全化と茎の充実を図る。

